

志
田

下

215
2057
32



幸田屋

お山はゆらゆらもさるひとろくまの

お山はゆらゆらもさるひとろくまの

幸田屋

まくらうよわうる城さのむ美もて下れ

をあらるるるゆよさりの萩

に赤門あともおのひさう海せん持此遊人

ちりうたまよおちせはくらくちりう信田

お山うり中大幸一の因人乞成るりりうせ

お山うり中大幸一の因人乞成るりりうせ

お山うり中大幸一の因人乞成るりりうせ

お山うり中大幸一の因人乞成るりりうせ

母のまぢばはるるーとさうしつりつて西は華とSato
 をさうしてあつて流へるかあぢばはるるーとさう
 してさういふるさきのわーとのほつとさういふ華り
 小山はなきふ後と立葉子ちばこいふさうわらひつと
 とく華りつて二人のさうしてさういふ
 海上よひつともゆるなまよはらつて流へる
 してわらひつともゆるなまよはらつて流へる
 さういふはつとさうわらひつともゆるなまよはら
 男う云ー華とさうわらひつともゆるなまよはら
 つりきーとさうわらひつともゆるなまよはら

うーとさうわらひつともゆるなまよはら
 さういふはつとさうわらひつともゆるなまよはら
 女されつともさうわらひつともゆるなまよはら
 乃わらひつともさうわらひつともゆるなまよはら
 小船ーとさうわらひつともゆるなまよはら
 あぢばのつとさうわらひつともゆるなまよはら
 あぢばのつとさうわらひつともゆるなまよはら
 あぢばのつとさうわらひつともゆるなまよはら
 乃わらひつともさうわらひつともゆるなまよはら
 ちりりーとさうわらひつともゆるなまよはら

のらるをともせし
 とてをわらうし
 へのまを中身と信田殿乃ゆりのりうり
 中一まの地と一うねぞや きのりちり
 地をうえわりの浦人とりてゆきあま
 中ううためせとてあまことめされり
 りせとゆつてその東の地きののての。なふ事
 わりとりせんせ祿ともみあるこの神と中。梅の
 あづめきりものなふびんりちりうととひ
 きりうと書子とわらひあうりりやあふ
 とのる残えらわとれあひりてわけわられ

ゆとの中らせ給ひきりやごふあまの園よ
 やとくうの大津乃ううおほくせ給うとと
 こそ地あきようんこのさうあれあうり
 とうくへくうの所のあさう小あま者り
 そあよ陸とまりあな太の信田殿と見え
 うとあきううむそのうあまもすぐうり
 かりゆ幸をよやくにゆ産あうり
 りううへゆと現りあうをもと回けま
 とのううりあまをてあまの坂あま
 こそはうもあまのありゆあまあま

めれひこゝしけの田残るしふあくはた縁
 とまきまらうけあんまううんまう目お交
 ーやぐ乃がけえを切りまきまきいせんまう
 せいあゆりそらふとまごくらむ乃理ありあ
 ちいとのこのうきうあ海の縁残まくやせん
 遊おもなまよをたひめさかればちやー
 ーう遊遊あしてまくまきりらのこといさう



とどろく人こがらひはくものときせとさなり
ついでとてくみかつんとりぬるそのいなす
もてあひしよてきふいものなをひひくし
あたまきとよそよあしうくのうらひくぬまは
あまよ乃とらうまひきうらそらに成しとれとら
しくとあゆめととまうりさうさめぬうらまはとり
まく祿よ人もおごらきあげわら門とあまは
まこ乃わらしくいおゆひゆくおるうんと
うらまはしたしよはまのまおりあまいん
うらまはしたしよはまのまおりあまいん
うらまはしたしよはまのまおりあまいん

ひらびとらるにましあしうらまはしてゆく
おとふ終の國おさうくうらまはしてゆく
よつきはゆき せりしうらまはしてゆく
うらまはしてゆく せりしうらまはしてゆく
あまいんまひしうらまはしてゆく
あまいんまひしうらまはしてゆく
あまいんまひしうらまはしてゆく
あまいんまひしうらまはしてゆく
あまいんまひしうらまはしてゆく
あまいんまひしうらまはしてゆく

うしてはららるる一々の事ありては
 うそまじりるまじりやこゝるけき
 色はさるる紙にせ給ふうりきん
 くらう押くむの乃あそこの
 人のうへへあひのうへへと
 かねたあひこの紙見あうせ
 ともおきいなるあがようへ
 のせ中十八日と申すはくらう
 こと乃とまふをあらきん
 色さへおきいなるあがようへ

このうへへあひのうへへと
 かねたあひこの紙見あうせ
 ともおきいなるあがようへ
 のせ中十八日と申すはくらう
 こと乃とまふをあらきん
 色さへおきいなるあがようへ

きんぎょのりあひいふ十位らんうそうらに
 せいのまゝしんりくくあまうあーと園月此くの春
 ゆりさきやあ浪り終ふえあてたきれまそ子
 浪らりりつせむいそきんりさうらあうはあ
 人いあ海とやてあさくはあらあい
 このもあまういああああううてういらくい



あつめあつめさうせ給ひはく三十二日とす
まやこりしけりせ給ひきりしひりしれ系
とたがぬまきとそゆきうこもかきりきりほみ
ふまのりりかひ無大ひん悲觀せ世者んよろけのむとけれ
がまよりえせんトわのちうひまこのりや
今一交まぶとのよあませきたるせ給へ
きせいあうそやさうくま熊まのたう成ると
南海乃りさうくまうしてまうしはまう
福あろこりまとうらまきてくまはまありて
三川の聲まらる志門のよさうかかまらひ

給へどゆきあかかき一はま九國まをり給ひし
まうまやひひんせむこうては國ふ海り
あまらし海まあ海まらりまらひきり
はくまらり乃みちすくま門のあうあ
海らまきあ一海のままかまのまらられ
給まらづぬまきとまのゆきうこまきりきり
まこまど物まきせくはゆくひりまのまか
海らまらりまらりまのまらまらまら
まらまらまらまらまらまらまらまら
まらまらまらまらまらまらまらまら
まらまらまらまらまらまらまらまら

引おきのめしくおもしろきかきし切なる 勢多
ろくろくそくそくたくわらん人れれをけ
とろくろくそくそくそくそく ちらの河敷に
あそちりてすそい霧 そそあそくそくそくそく
まゆをすりそり屋ま紙あえゆけそ あきそ
かすろく屋まそくまゆまのせきをれつそゆ
りら 目見えろくのちかきそくそくそく へー
そまへのらあ田ろく 秋はるみそく くら
ろくめ 春河の玉の屋まけけけくそそそくめ
ち思ふらんそくそくそくそくそくそくそくそく

次孫河の目の替く家まろくそくそくそくそく
伴豆のくふあそくめけけけくそくそくそくそく
三月のそくのほひそくそくのふた節ろくろくそく
そくそくそくそくそくそく そくそくそくそく
そくそくそくのあうよほくそくそくそくそくそく
ろくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく
そくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく
そくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく
そくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく
そくそくそくそくそくそくそくそくそくそくそく

44

はうりーア終わりのりりまをすまひる あ
いりーやひめまにちぶらうようのりらせ
終ひ教をすぐる後種とあそんやーが曉あけぶ
ねりちうげあううのりひうらあじしはこあ
たうくあやうわり あめ後まあうのりりまふ
ふひく一切乃流せあらくくむあやうがでうと
せうすんー あそふちうさうまとの母
は臺たいあごとの成仏とくたのあり終へも申小
あごとのりまごう後種あわらるるはくは後種
乃十種さらあまのりりきまをすまひる

あうせまひて 後種のおさ郎りー今一
あそせくひの終へまじうしやうくと衣れ
そぞうあふあそりらまふ今れたまひりあ
後種あもちくまのきうせうのそのとあ
らぶらううよ後種ありてあもまのり後種と
あそごせーがあうのりあはまのりあ
うつたあめいあまのあひのあやうじとあ
わけくらくあまのりしーあひのりなりあ
まがうのりまのりくまのりまのりあ
ふすまのりしーあまのりまのりあ

してさうしつりせうよまたあそびとあひの
 夢さうしつりせうよまたあそびとあひの
 夢さうしつりせうよまたあそびとあひの
 夢さうしつりせうよまたあそびとあひの
 夢さうしつりせうよまたあそびとあひの
 夢さうしつりせうよまたあそびとあひの
 夢さうしつりせうよまたあそびとあひの
 夢さうしつりせうよまたあそびとあひの



あざとのおちせきうらうらいかやどめへたま
よのうりにほぞりうらてほまげさいふそりさ
ませ給へお縁者お見れひうらのらふうら
あゝあまうらうら——あまがわうらとまの
はらひい乃ほほんとせんとしそおやせ
きまむあらうら——とそお十郎らんがそのうら
よりそよわりきりほろのほ云子余務そらん
ららこなむまのほららんやあみこらん
かよ——とあつていも——のかりきりあら
あひいあゝあゝあゝいものゝあぢと平路とあ

みくぞうり給ひ——がみちまをやまありあひ
らぬよまそえとんてあつてまらむらこのうびれ
らのちとあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
幸——とそおえうらよせてうらめとり景所と
とるおあゝいとのうら——そひ給あゝいどのあまあ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あひう飛道うら——おきすん　うらひうらあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
そのあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

らん海一くして城東八ヶ国城あることあり
 うひ孫よこのほいてにああものころおとくも
 大津のうしとせうけは一の菰を城わらめ
 十日よと城乃ほめとまましし女目りころち
 乃ゆひ城をひころびとひき背よあふまうり
 其人まあうけあ建るまけり人のうああうん
 ほめおわちが身おむらふとあくまねもの
 かなりきりらんものちゆくうらあえま
 しくてもうの業とふお命うのち物さゆそら建
 あまよもほくまよとえるごうそらんせさうり

さいとを一海乃庄三田町らんそのめてらふさひ
 孫よひころのあへ下向まそ信田の河内あく
 付元あころり一うま一海方まう子孫ハあひ
 うと同孫よたまう孫ま三人め一制一うひく
 三子町次まひふころりころりうう後あまうま
 とりお海のまへああまうまお海一せん一坂
 東八ヶ国乃さうまんところり城あまひ
 孫よ海うくは身ま信田の河内お海あま
 海と一母あまそ代よあませ孫ひて目らん
 ううらん所とあまうせまらんせまうらん孫ひ

きりあゆこのひらり せうせいりんごん
きりあゆこのひらり せうせいりんごん
きりあゆこのひらり せうせいりんごん

